

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～18.5℃台を示し、やや高い～高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間明けの出漁となった。西彼地区では、カタクチイワシ・マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の6倍（前年を下回った）。五島奈留地区は、シケで水揚げがなかった。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり141kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.5トンの水揚げで、前週の82%（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり50kgの水揚げで、前週の56%（前年を上回った）。五島奈留地区では1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり472kgの水揚げ。北松生月地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり709kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり74kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり320kgの水揚げ。
- 一本釣――北松小値賀地区では、ブリが1日当たり19kgの水揚げで、前週の68%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/18日～2/22日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐の島西海区～山口沖及び太平洋赤イカ海区出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁した。鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

ホームページを移転しました。移転先は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」
<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html> となります。

漁海況の情報は、「漁海況情報」から「漁海況週報」、「漁海況通信」でご覧いただけますので、移転先でも、引き続きご利用頂きますよう、よろしく申し上げます。